



第8回学術コミュニケーションセミナー(月刊JPCOAR)

博士論文の実務

2022年5月17日

学習院大学

大学図書館情報管理課

米田 岳史

- ▶ 1. 博士論文の登録対象
- ▶ 2. 実務の流れ
- ▶ 3. リポジトリ登録の手順
- ▶ 4. 課題

1.博士論文の登録対象

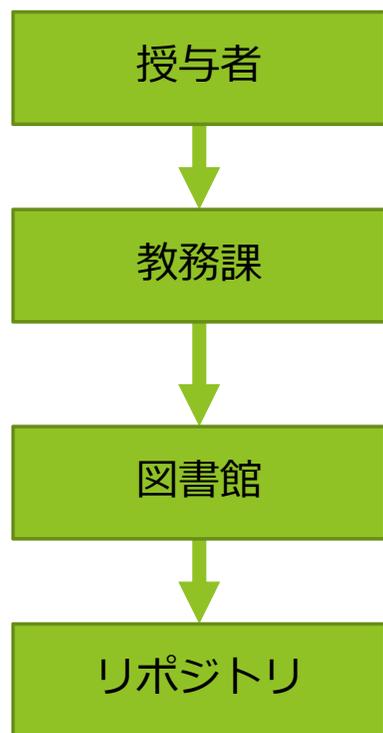
- ▶ 1) 2013（平成25）年度以降がメイン
学位規則改定によりインターネット公表が必要になったため
- ▶ 2) 2012（平成24）年度以前
依頼があれば実施。現在は積極的に実施する予定はなし

1. 博士論文の登録対象

▶ 登録データの内訳（2022.4.27時点）

		件数
公開可	NDL分	10
	2013年度以降	42
	2012年度以前	27
公開可（要約）	2013年度以降	1
公開可（学内のみ）	2012年度以前	11
抄録・審査結果のみ公開		54
未確定	2012年度以前	309
公開不可	NDL分	4
	2012年度以前	22

2.実務の流れ



- ▶ 学位授与後、1カ月以内に公表許諾書+データ（本文、内容の要旨）を教務課に提出
- ▶ 教務課が決裁をとり、公表許諾書のコピー+データ（本文、内容の要旨、論文審査の結果）を図書館に送付
- ▶ 公開許諾書のコピー+データ（本文、内容の要旨、論文審査の結果）を元にメタデータを作成し、リポジトリへ登録

2.実務の流れ

▶ 公表許諾書の内容

⇒学位授与後に図書館に別途申請書を提出しない流れを教務課と調整

▶ 著作権の相談

⇒ここ数年はほとんどなし。

過去にマンガのコマについて、出版社の許諾が必要かどうかという相談があり、関係者と調整した結果、著作権法第32条、48条に基づき、著作権法に規定される「引用」に該当する場合は許諾の必要はなしとの結論に至る。

3. リポジトリ登録の手順

メタデータ作成者(1名)とリポジトリ登録者(1名)の2名体制で実施

- ▶ 1) メタデータ作成 (データ作成者)
 - ・ 公表許諾書 + データ (抄録とか) を元に作成
 - ※Junii2、JPCOARスキーマを参考
 - ・ データはExcelで管理
- ▶ 2) メタデータのチェック (リポジトリ登録者)
- ▶ 3) リポジトリの登録 (リポジトリ登録者)
 - ・ 登録は1件でもSwordClientを使用し一括登録で処理
(マニュアル作成の手間が減る等のため)
- ▶ 4) 教務課へ連絡
 - ・ 学位授与者には教務課から連絡

4.課題

- ▶ 学位授与1年を超えても本文や要約が提出されないケースがある
 - ※主に出版予定となっている学位論文
- ▶ 2012年度以前の博士論文をどこまで積極的に収集すべきか
 - ※現在登録されている博士論文は、リポジトリ構築時に紀要の著作権許諾と合わせて実施した分等
- ▶ 博士論文に限らないが、リポジトリ業務の後任をどのように育成するか